

## 利用規約

E.Breath Clinic 心齋橋（以下「当社」といいます。）が運営する WEB サイトです。ご利用にあたり以下の規定に同意いただいたものとします。なお、内容に変更が加わることがありますので、最新の内容をご確認ください。

### 1. インターネットと医療法についての見解

当社では、専門家と共に、インターネットと歯科医療について2年にわたり、研究模索しながら、新しい活用方法を研究しています。広く一般の方に懸賞論文を頂き、意見をお聞きしたこともあります。

まだ、歯科医療や、医療分野におけるインターネットの利用は始まったばかりで、医療監督機関の指針もはっきりと、明示されることなく、流動的であるのが現実です。当社のホームページの目的は、広く一般の皆さんに歯科医療情報や歯科関連情報を提供すると同時に、情報の公開、適正な医療のあり方などの問題提起、などを一緒に考えていくことを目的にしています。

また、当社の患者さんに対しては情報サービスおよび、相互通信手段として便宜を提供しています。

また、歯科関連商品のプレゼントや様々なイベントは、告知目的と選択して経済的代価を支払って閲覧される方への謝礼的意味合いで、非商業的に実施しています。

具体的な運用方法については、未だ、研究途中で、判断のつかないこともありますので、ご意見など聞かせていただければありがたいです。

また、医療業界における野放し状態のインターネット活用方法についても、法的倫理規定や運用規定について整備されることを期待します。

一応現在の、インターネット活用における法的根拠について、提示します。これから、インターネット活用される医療関係者の皆様に参考になれば幸いです。

このHPについて、不備な点がありましたらお問い合わせフォームより御連絡ください。

### 2. 引用文献の著作権について

インターネット上の、著作権が問題となりつつあります。

MP3などの音楽分野では、既に、社会問題化し、対応がなされています。私の知っているMP3関係サイトも、ほとんど閉鎖されて来ています。当社でも、この問題に関し、インターネット上のルールを遵守し、良識ある対応をしてきたつもりです。

当社では、さまざま歯科関連情報を提供していますが、引用文献については、社会通念に照らし合わせて、必要に応じ掲載許可を申請し、転載するようにしてきました。

新聞報道については、各社対応が、統一せず、「著作権制限条項」における広い意味での引用と解釈し、その出典と、掲載年月日を掲載してきました。

（許可申請不要で、既成発表分について非商業目的で、引用する場合は、引用元表示を義務づけるだけでよい所もあれば、書類による確認が必要な所もあり、各社対応は様々で、今の所不統一です）

ただ、今後の、インターネット上の適正な運用のあり方に関し、「引用」条項について、報道機関の、著作権問題担当者に問い合わせた結果、一部の報道機関から、「厳密な意味

での、引用には、引用者のコメントなり、その記事に対する論評が必要である事」が分かりましたので、今後の記事などに関しては、そのように対応していきます。  
政府官庁および、都道府県の発表する官報的な内容については、公益性と国民として知る権利の立場から、内容に変更を加えず、資料として報道掲載します。  
既に、発表してある内容につきましては、差し支えのある場合、削除、内容変更などいたしますので、WEB M A T E Rあてに、ご連絡ください。  
また、当社の中のコンテンツについて、一部 E.Breath Clinic 心齋橋に著作権のある物が含まれます。引用の場合は、当社にリンク頂ければ問題は、ありません。(連絡不要) 連絡頂ければ、内容により、相互リンクいたします。

### 3 . ホームページアドレスの表記

本サイトのホームページアドレス (URL) を、WEB サイト、出版物、印刷物、ドキュメント等に記載する場合は、以下の表記をしてください。

・ <https://www.ebreathclinic.com>

令和元年 10月 23日制定